

朝日開運大黒天

真言宗智山派

高倉山 真野寺

真野大黒天



関東八十八ヶ所五十七番霊場
安房国札二十五番観音霊場
安房七福神
安房国六地藏尊霊場



真野寺縁起

今を遡ること一千百余年前、聖武天皇時代の神龜二年（七二五）に、高僧・行基菩薩によって本寺は開山しました。建永元年（一一〇六）十月には野火により焼失してしまいましたが、翌年に大黒天の信仰厚い北条義時公が私財を投じて七堂伽藍を再建し、覆面千手観音と大黒天像を安置しました。

当寺の本尊である覆面千手観音は行基の御霊作といわれ、他に例をみない霊験あらたかな観音様です。

また、朝日開運大黒天と称えられている大黒天像は、貞観二年（八六〇）の旧正月六日、朝日昇天の中に大黒天が出現し、当寺を訪れ参籠中だった慈覚大師がこの御尊像を直ちに一刀三礼により彫り上げたといわれる御秘作です。爾来、毎年二月六日には、御出現を記念して大黒天福祭りを行い「真野の大黒さん」と呼ばれ親しまれております。

治承三年には、源頼朝公が源氏再興の祈願のために立ち寄り、また、後には里見義堯公より領田を賜り、徳川將軍家からは御朱印四十三石を賜って隆盛を極めました。

元禄の大地震、大正の関東大震災と二度の大被害を被りましたが再建し、現本堂は昭和三十五年に落成いたしました。

覆面千手観音像



観音堂

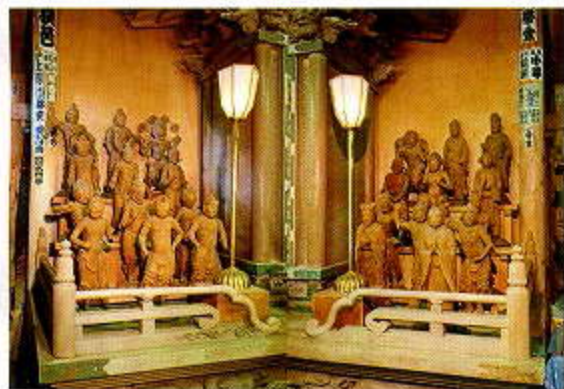
真野寺の御本尊・木造千手観音立像、朝日開運大黒天像、木像二十八部衆立像が安置されています。参詣に訪れた方が、必ずお参りする場所です。
元禄の大地震、大正の関東大震災と二度大きな被害を受けましたが再建し、現在の本堂は昭和35年に落成しました。

木像二十八部衆

覆面千手観音像

木造千手観音立像 附木造行道面
(千葉県文化財指定)
丑年、午年に開帳。

当寺の御本尊。像高1.72メートル。行基の御堂作と伝えられています。一木から彫り出されている本像は、面部に行道面がかぶされていることから覆面千手観音と呼ばれています。



木造二十八部衆立像

建武二年(1335)仏師上総法橋の手で造立され、当寺に納められました。本尊の守護神として制作されたものと推定され、南北朝時代に作られたといわれています。

真野大黒天福祭り

2月6日

「真野の大黒さん」と呼ばれ親しまれている大黒天福祭りは、毎年2月6日に大黒天の御出現を記念して行っており、この日は南房総ばかりでなく広く関東一円から参詣する人で賑わいます。

宝槌を授かってお参りすると、人生一切の不運不幸が夢のごとく消散するといわれており、開運福德の御利益を授けて下さる福の神です。

「柳守は「柳に雪折れなし」の諺とおり、不況の寒風にやまぬ現代、風にさらう事無く家内安全、商売繁盛、事業繁栄、心願成就、諸願成就に守り導いてくださいます。

朝日開運大黒天像



朝日開運大黒天像

(千葉県文化財指定)

像高1.4メートルで、肩に大袋を背負って右手で木槌をもち、両足を大きく開き俵の上に立っておられます。寺伝によると貞観二年(860)慈覚大師が本山に参籠中一刀三礼で彫られたとされています。豊かな頬と恰幅のよい姿は、施福神の性格を明らかにしております。



真野大黒天福祭りのにぎわい。



福を呼ぶダルマや福納りも名物です。



柳守

(やなぎまもり)

人間も柳のように柔軟かつ強固で、柳にぶら下がっているもち米のはね煎りの如く災難苦厄を撥ね飛ばし、八倍の繁盛をもたらすようにと願いが込められています。

大黒天御真言
オンマカギヤラヤ ソワカ



宝槌

この槌の中には大黒天が内在され、そこから世にも不思議な力を発してあらゆる幸せをもたらし、また、怠け者には頭を打って懲らしめるといふ言い伝えがあり、心眼が開けてくると、槌の中の大黒様が見えてくるともいわれています。

この宝槌は買うとは言わず「お借りしてゆく」と言い、貸与期間は十二ヶ月で、十二ヶ月目には新しい槌と交換するか、またはその槌を二祈禱します。



波の伊八

大黒天祈禱所の欄間彫刻。「波の伊八」として知られ、数々の名作を残した彫工・初代武志伊八郎信由の作と伝えられています。観音堂の彫刻も伊八の作といわれています。



新四国八十八ヶ所お砂踏霊場

観音堂裏手の歩道沿いには、四国八十八ヶ所になった、11基の石像が建てられています。1番から88番までの札所が記されており、八十八ヶ所巡りができます。最後に、高野山奥の院満願所でお参りします。



白寿延命地藏尊

観音堂右手にある地藏尊。安房国六地藏尊霊場の一つです。毎月24日は地藏尊の縁日です。



大黒天祈禱所

真野寺の本堂ともなる祈禱所。この場所で護摩が焚かれます。また、参詣に訪れた方への護摩やお礼のご案内もいたしております。



七福神堂

観音堂右手にある堂宇。大黒天にちなみ、七福神が祀られています。

真野寺の四季暦

1月1日～3日

初参り

1月6日

初大黒天

2月6日

大黒天福祭り(大祭)

毎月6日

大黒天小祭り

4月8日

花祭り

毎月24日

地藏尊縁日

御祈禱護摩札(三千円以上奉納の事)

御祈願宝槌(三千円以上奉納の事)



真野寺のサクラ(4月上旬)



ツツジ・サツキ 4月下旬～5月



ヤマユリ 6月～7月



アジサイ 6月～7月初旬

あじさい



交通のご案内

●JR内房線

(特急さざなみ号で約2時間)

東京—蘇我—木更津—館山—千倉

■JR館山駅下車—日東バス(お花畑行)—九重大井停留所

■JR千倉駅下車—タクシー(真野寺行)

●アッカライン—木更津I.C—^{青津館山道路}富浦I.C—R127・128—真野寺



境内図



真野大黒天 高倉山 真野寺

〒299-2524 千葉県南房総市久保587 TEL. 0470-46-2590 FAX. 0470-46-2519